

ひだまり

祝 **50** 周年
記念



今年も各施設各部署において紅葉バスハイクが行なわれました。大型バスに乗り込み、皆で向かうバスの中は普段施設内で過ごす姿より、ちょっぴり上機嫌に見えました。目的地までの流れる車窓に色とりどりの風景は、ご利用者のひとときの娯楽となり、心を癒す事ができましたのなら嬉しい限りです。(丸屋)

ひだまり Vol. 50

医療法人社団みつわ会
山形県鶴岡市茅原町26番23号
〈事務局〉 Tel.0235 - 25 - 8255

- ・老人保健施設のぞみの園
- ・サテライト老健のぞみ
- ・サテライト老健ちわら
- ・グループホームひだまりの家
- ・のぞみの園訪問介護サービス
- ・茅原クリニック
- ・ケアプランセンターひだまり
- ・有料老人ホームサニーハウス茅原
- ・有料老人ホームみつわ荘
- ・有料老人ホーム共栄荘
- ・有料老人ホームあじさいの家
- ・ライフサポートハウス千寿

発行日 平成25年12月1日
発行人 施設長 佐藤久美

「米の粉の滝ドライブイン」



「赤川土手の桜並木」



「赤川土手からの車窓」



障害者の「積極雇用事業所」と「優秀者」表彰

＜表彰内容＞ □高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞 優秀勤労障害者 長南聡(みつわ会職員)
□山形県知事感謝状・優良事業所 医療法人社団みつわ会

障害者を積極的に雇用する事業所や、職場の模範となって働く障害者を対象とした表彰式典が9月25日、山形市のメトロポリタン山形で行われ、6事業所、13個人が表彰されました。山形県と独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形障害者職業センターの主催で行われました。当法人は「法人表彰」と、当法人で長年勤めている長南聡さんが「個人表彰」を受賞しました。(千芳)



医療法人社団みつわ会
老人保健施設のぞみの園
業務職員

長南 聡

表彰ありがとうございます。

平成14年7月、学校からみつわ会の就職の紹介がありました。10月の1回目の実習で、初めは、ほとんど仕事の流れがわかりませんでした。1月の2回目は流れもわかってきましたが、冬の通いのため、列車、徒歩での往復(3時間半)は大変でした。

今までやった仕事の内容はオシボリとエプロン畳み、ご利用者の髪乾かし、ゴミ集め、ベッド周りの汚れ取りなどです。

これから頑張りたいことは、今まで以上に1日の仕事をたくさんこなせるようになることです。



(元鶴岡高等養護学校職員)
山形県立鶴岡養護学校
進路指導主事

的場 武

長南聡さん、受賞本当におめでとうございます。吉報を聞き、とてもうれしく思います。

長南さんとは、鶴岡高等養護学校で知り合いました。入学してきた当初から、いつもにこにこして生活し、興奮して怒ったり泣いたりしたことは一度も見たことがありませんでした。

ただ、就労に向けて実習した時は、つらい時もありましたね。仕事をする厳しさを知り、落ち込んで話ができないこともありました。そんな中、のぞみの園で実習を行った時は、今までとは違う長南さんがそこにいました。自然体で生き生きと働く長南さんの姿を見て感動したことを覚えています。

これからも、のぞみの園の職員の方々やご利用者の方々との出会いに感謝し、また、お父さん、お母さんの協力や理解を忘れずに、のぞみの園の一職員として、元気にそして長く仕事を続けて下さい。

平成14年、中学校時に同級だった的場武先生から長南さんの就職について相談があり、その時から当法人の障害者雇用の歴史がスタートしました。

長南さんの採用から10年が経過し、個人表彰を受けた職員はもちろんのこと、障害を持ちながらも努力し働いている職員、また、障害者雇用を理解し働きやすい環境づくりに協力してくれている全職員に感謝いたします。

これからもこの表彰を糧に、職員全員が笑顔で働ける環境づくりと地域社会の貢献に勤めて参りたいと思います。

医療法人社団みつわ会 事務局長 榎川 敏明

山形県老人保健施設大会

平成25年9月6日、「山形県老人保健施設大会」が海麓園(鶴岡市湯野浜)で開催されました。当法人から3人の職員が参加し、演題「安全な屋外歩行獲得を目指して 通所リハビリテーション短時間利用者を担当して考える」(発表者:理学療法士 佐藤靖浩)を発表しました。



医療法人社団みつわ会
のぞみの園通所部門
理学療法士
佐藤 靖浩

本大会では、他の施設における職種間の連携や新たなレクリエーションの取り組みについてなどの話を聞くことが出来ました。老健で働くのが一年目の私にとっては知らないことが多くあるため、このような大会に参加させていただき大変勉強になりました。伊藤真知子氏の講演では、「ジェンダー」というキーワードをもとに、高齢化に向けた人としての在り方について貴重なご講演をいただき、勉強になりました。



東北地区介護老人保健施設岩手大会

平成25年10月25日、「第14回東北地区介護老人保健施設岩手大会」が盛岡市民文化ホール・マリオスなど2会場で、「東北における老健の現状と展望 ～地域包括的ケアシステムにおける老健の役割とは～」をテーマに開催されました。当法人から2人の職員が参加し、演題「ご家族との信頼関係の中で入浴拒否者へのアプローチ」(発表者:介護福祉士 今野光明)・「利用者の身体機能、維持向上を目指して ケアが出来るリハビリへの移行」(発表:介護職員 大川道)を発表しました。



医療法人社団みつわ会
老人保健施設のぞみの園
介護チーフ
今野 光明

教育講演『在宅強化型施設への取り組みと課題』のお話など大変勉強になりました。午後からの症例発表では、発表時間6分以内のため、後半焦って早口になってしまいましたが、大きな問題もなく終了しました。大きな舞台での発表は大変緊張しましたが、自分の大きな経験となりました。この大会で学んだことをご利用者のために活かしたいと思います。



医療法人社団みつわ会
のぞみの園通所部門
介護職員
大川 道

私は症例発表自体初めての経験だったので、職員の皆様のご協力により何とか発表までこぎつけることができました。発表はかなり緊張しましたが、無事発表することができました。発表内容は今年4月から通所部門で初めたりハビリ委員会の活動内容をまとめたものです。介護職員がリハビリ意欲の高いご利用者のニーズに応えることを目標とし主にリハビリ勉強会を通じケアのスキルアップによる質の高い介護、リハビリを行っています。今後も活動を継続し更なるリハビリ委員会の充実を図っていききたいと思います。

他施設の素晴らしい取り組みを学ぶことができました。来年も質の高い演題発表を行えるよう職員全員で頑張っていきたいと思います。

(景子・桜子)

朝陽第六小学校3年生来園

子ども達から「元気」のプレゼント



9月12・13・17・18日の4日に渡り、鶴岡市立朝陽第六小学校3年生4クラスの皆さんが来園し、『6小音頭(6小オリジナル)』の踊りと、『Believe(ビリーヴ)』の合唱を披露してくださいました。

『6小音頭』では、子ども達の「エイ エイ ヤー!!」という元気な掛け声に、ご利用者の皆様も一緒に声を響かせていました。合唱して頂いた『Believe(ビリーヴ)』という曲は、『支え合う』という意味が込められた曲です。子ども達の澄んだ歌声に会場のご利用者・職員の多くが心を打たれました。その他、リコーダー演奏や短歌、校歌などの発表もあり、頑張っている姿に自然とご利用者も笑みがこぼれました。

また、子ども達からご利用者へ心のこもったお手紙を頂き、ご利用者からも後日一生懸命書いたお返事をお届けしました。最後は、子ども達がお利用者一人ひとりを回り、握手をして頂き感極まって涙するご利用者もいらっしゃいました。今回の交流は、3年生の皆さんにとってもご利用者の皆様にとっても心温まる内容の濃い交流になったのではないのでしょうか。(田中)



地域防災の重要性を感じて



茅原町内会防災訓練(1)



茅原町内会防災訓練(2)



のぞみの園防災訓練(1)



のぞみの園防災訓練(2)

当法人では、年5回の防災訓練を実施しており、その都度防災意識を高め、対応の確認をしている。

9月29日、「サテライト老健のぞみ」が位置する「日枝地区」の防災訓練には、当法人から職員2名が参加し、地域住民と共に防災への意識付けを行い交流を図った。当日は約80名の地域住民の参加があり、救急蘇生、避難経路の確認、消火訓練を実施した。

また、11月4日には、「茅原町内会」の防災訓練に職員18名が参加し、約170名の地域住民と共に避難経路の確認と消火訓練等を行い、住民と施設が連携し訓練していく事の大切さを実感した。

そして、今年は開設以来初めて隣接する特別養護老人ホーム永寿荘との合同避難訓練を実施。10月30日は永寿荘で、11月6日は当法人の「老人保健施設のぞみの園」にてお互いの職員が行き来し、協力体制と安全確保の確認を行った。合同による訓練は緊張感を持ち手際よく誘導訓練ができた。また、連携体制も戸惑いなくできた事に「心強い、もっと早く合同訓練をしていくべきであった」とのお話もあった。

今後も積極的に地域住民との交流を深め、防災意識を高めていきたいと思った。(水口)



永寿荘からの助っ人到着



避難誘導の様子(1)



避難誘導の様子(2)



合同訓練の総括の様子